

5年生 避難訓練ふりかえり：一步進んだ「自分の命を守る」意識

今回の避難訓練で、5年生は従来の「おかしも」に「ち（近づかない）」を加えた新しい合言葉を学びました。単に行事として参加するだけでなく、「自分の命は自分で守る」という強い当事者意識を持ち、家庭や学校の様々な場所でのシミュレーションへと意識を広げているのが特徴です。

知識のアップデート：新合言葉「おかしもち」

正しい避難行動の徹底

ハンカチで口を押さえる、放送を静かに聞くなどの基本動作を完全に実施。

消火訓練による実感を伴う学び

消火器の使い方を学び、火災発生時の具体的なイメージを持つことができました。

多くの児童が、新しく学んだ「ち」の重要性を強く実感しました。

芽生えた自立心と当事者意識

「自分の命を守るのが最優先事項」

指示を待つだけでなく、自分で判断して動くようとする自立的な姿勢が見られました。

想像力の広がり (学校から家庭へ)



家での火事や、体育館・階段など様々な場所での避難を釐定し始めています。

備えによる恐怖心の克服



「訓練前は怖かったが、正しく動けて自信がついた」という前向きな変化。

振り返り項目 (5年生)

| | | |
|---------------|------|---|
| 放送をきちんと聞きましたか | 100% | ✓ |
| 自分の身を守れましたか | 100% | ✓ |
| 「おかしも」を守れましたか | 100% | ✓ |